



STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2009 推進ニュース

—介護ウェーブの“Big Wave”をおこそう！—

「介護ウェーブ推進ニュース」200号に向けて 各地の取り組みをお寄せください！

介護ウェーブ2009 すでにさまざまとりくみが進んでいます（埼玉）

「一気に」を合言葉に～行田協立診療所

行田協立診療所では5月の「保険でよい歯科医療を」の署名の際、職員会議で簡単な学習を行い、目標を500筆として「1人5筆はやりきる」とし、患者様、ご家族への声かけを中心に、『一気にやる』を合言葉に500筆はあつという間突破。目標達成となりました。今回の介護署名もその経験から、「一気にやる」を合言葉に職員会議での簡単な学習・意思統一して、職員、患者様、デイサービス利用者様にこまめに声かけ。さらにデイサービス利用者様には請求書に同封してお届け。これが奏功して400筆超となりました。先日の学習・決起集会の内容を朝会で報告。とりくみをさらに大きくしようと意思統一しています。署名数は3日現在、431筆と全県をリード！

支部班長会で～ふじみ野・渋木さん

ふじみ野ケアセンターの渋木さんは医療生協・かすみ西支部の班長会で介護保険制度と今回の報酬改定についてお話し。27名の参加者ひとりひとりに署名用紙を渡し、協力を訴えています。

署名は身近なひとから声かけ

署名のお願いはまずは身近な家族。そして親しい友人へとひろげましょう。夏に同窓会が予定されている方はチャンスです。

利用者・ご家族に声かけして

～おおみやケアセンター

おおみやケアセンターでは職員がミニ学習をして意思統一。デイサービス利用者様には声かけとあわせて連絡ノートと一緒に手渡し。ヘルパー利用者様にはサービス提供責任者を中心に声かけしています。寄せられた署名は250筆ほどですが、「声かけをさらに広げる」と追加の署名用紙の依頼があり、120枚(600筆分)を先日お届けしました。

すでに2回の学習会に～本部・岡村さん

本部・介護事業支援課の岡村さんはすでに2回の学習会講師として奮闘しています。久喜市の年金者組合での学習会には25名が参加。40筆の署名が。また、医療生協の吉川支部班長会には20名が参加。署名も50筆よせられています。いずれも、今回の報酬改定が利用者本位の改定になっていないことを訴えたものとなっています。

社保委員会でこれからのとりくみを確認

～ケアセンターかがやき

とりくみの進むケアセンターかがやきでは、2日に社保委員会を開催。①各事業ごとの学習会の開催。②1人2ヶ所以上の事業所訪問。③介護事例をまとめる。④利用者様全員にもれなく署名用紙を渡す。⑤介護ウェーブ担当を森田とする。を確認しました。さらなる広がりが期待されます。

事業所・地域で学習にとりくもう！

先日の学習・決起集会で確認した「行動提起」でも今回の介護ウェーブでは、職員はもとより、地域に出ての『広範な学習』を重視しています。事業所内での学習会で経験を積み、地域にでましょう！組合員さんの班会をはじめ、自治会や老人会など「おしかけ学習会」を旺盛に開催しましょう。署名用紙が簡単な学習資料になっています。また、パワーポイントも来週早々にお届けします。パソコン・プロジェクトがなくてもOK！配布資料を印刷して資料としましょう。

いき場のない患者・利用者さんのこと 見て見ぬふりはできません！ 各地で宣伝・署名行動が行われる（北海道・オホーツク勤医協）

毎月の定例宣伝行動、初日は「3の日行動」です。7月はデイサービスと病棟職員が担当で、11人が参加して、医療・介護をよくする署名に24人が応じてくれました。参加した職員は「入院患者さんの中に家族の介護疲れによる方も増えている。そういう方は在宅に戻ることも難しく、入れる施設もない。こんな状況を見て見ぬ振りはできません」と署名への協力を呼びかけました。

市民からは「医療費・利用料を安くしてほしい」「お医者さんが少なくなっているのも問題だよね」などの声が寄せられていました。次の行動日は明日7日です。

勤医協在宅も「毎週金曜日昼休み 大通宣伝」スタートへ！

今週から「2009介護ウェーブ」として、毎週の街頭行動をはじめることにしました。あわせて事業所訪問・地域懇談会の開催もとりくむことにしています。

（北海道民医連 NEWS 09.7.6 より）



【事務局短信】 「介護ウェーブ2009」署名の集約をお送りください！

署名集約は、現在8県連から報告を頂いています。集約は旧署名の数を含めずに、「介護ウェーブ2009」署名のみの実数をお知らせください。

	署名数	一言elan	学習会	
埼玉	988筆		6回	124人
東京	502筆	25	5回	230人
神奈川	2,097筆	58		
山梨	1,254筆			

	署名数	一言elan	学習会	
石川	45筆	3		
福井	50筆			
兵庫	3,664筆	13		

（2009年7月7日現在）

「要介護認定制度2009ハンドブック」発売中！（定価250円）



新要介護認定制度の見直しの全体像や制度の仕組み、問題点等を解説。その上で、新制度に対するたたかいと対応の取り組みとして、多職種連携で作り上げる主治医意見書の重要性を示し、新制度に対応した主治医意見書の記載のポイントや、認知症への理解と対応として、BPSDやアルツハイマーの解説、その他、多数の参考資料を掲載しています。注文は（株）保健医療研究所まで。（A4版 137ページ）

DVD「要介護認定制度の主治医意見書の書き方について」発売中！（定価700円）

2009年4月1に福岡県民医連が主催した学習会を記録したものです。全日本民医連介護・福祉部の山田智部長の講演から、「主治医意見書の書き方」のみを抜粋して編集（20分）しています。注文は（株）保健医療研究所まで。

（企画・製作：福岡県民医連／監修：全日本民医連）



お問い合わせは、「介護ウェーブ推進本部」事務局：山平・名波まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp